LvOS 管理者ガイド

改訂履歴

バージョン	日付	変更点
01	2020/11/17	初期リリース
02	2021/5/11	新機能の追加:クアッドディスプレイ構成、カスタム解 像度、VMware セッションでの共有フォルダ構成、VPN 設定
03	2021/06/25	LvOS ver.9 対応。Index の更新



目次

1	始め)にこ	5
	1.1	シンクライアントについて	5
	1.2	デバイス管理について	6
	1.3	シンクライアントから何に接続出来ますか?	7
	1.4	プリセッション画面での電源管理	7
2	シン	クライアントの設定	8
	2.1	ネットワークへの接続	8
	2.2	シンクライアントの情報表示	. 10
	2.3	シンクライアントの設定	. 12
3	VDI	への接続	.18
	3.1	VMware Horizon ソフトウェアホストへの接続	. 19
	3.2	Citrix ソフトウェアホストへの接続	. 22
	3.3	Microsoft RDP ソフトウェアホストへの接続	. 25
	3.4	Teradici Cloud Access Software ホストまたはリモートワークステーションカ	_
	ドヘ	接続	. 28
4	詳細	l設定	.31
	4.1	シンクライアントへ、証明書、BIOS,OS をアップロードする	. 31
	4.2	デバイスのリセット	. 33
	4.3	デバイス管理ソフトウェア用のシンクライアントの構成	. 33
	4.4	VPN のサポート	. 34
	4.5	シンクライアントに関するイベントログの表示	. 38
	4.6	その他の設定	. 38





1 始めに

LvOS 管理者ガイドへようこそ。 このガイドでは、ELSA シンクライアントシリーズの機能について説明し、最新の LvOS オペレーティングシステムでインストールされたシンクライアントをセットアップ、構成、および管理する方法について説 明します。 このガイドは、シンクライアントのセットアップ、構成、および管理を計画している IT マネージャー、システ ムアーキテクト、および IT システム管理者を対象としています。

このガイドに加えて、シンクライアントのドキュメントセットには以下が含まれます。

- シンクライアントクイックスタートガイド
- デバイス管理ソフトウェア管理者用ガイド

デバイス管理ソフトウェア(DMS)を使用してシンクライアントのグループの展開を管理する方法の詳細については、デバ イス管理ソフトウェア管理者ガイドを参照してください。

注:このガイドは、LvOS オペレーティングシステムがインストールされているシンクライアントの管理者を対象としてい ます。 ELSA が提供する最新の LvOS イメージを使用しており、オペレーティングシステムを構成、またはこのガイドで説 明する管理設定を使用するときに、管理者として LvOS にログオンすることを前提としています。

1.1 シンクライアントについて

シンクライアントは、一般的な IP ネットワークを使用して、中央で管理されたサーバーから配信される高解像度のデスクトップ、USB の互換性、HD オーディオなど妥協のないユーザーエクスペリエンスに対応する小型のデバイスです。

シンクライアントソリューションは、生産性を最大化する機能と、Citrix、VMware、Microsoft、Teradici Cloud Access Software、PCoIP Remote Workstation Cards などの ISV プロバイダーとの完全な互換性を求めるユーザーを対象としてい ます。 クライアントデバイスは、ユーザーをサーバーから分離します。これにより、セキュリティが向上し、IT 管理とサ ポートのオーバーヘッドが最小限になるだけでなく、エンドユーザーに完全なリモート表示とI/O 機能を提供します。 ま た、10/100/1000Mbps 対応の RJ45 コネクタを経由して標準のイーサネット経由でネットワークに接続され、オプション のデュアルバンド Wi-Fi への接続をサポートします。

シンクライアントには、以下のサポートを含む包括的な機能セットがあります。

- 高度なマルチメディア/ディスプレイ機能を備えた SoC を使った低電力統合ソリューション
- 10/100/1000 Mbps イーサネット LAN 対応
- 802.11 a / b / g / n / ac ワイヤレスネットワークと外部デュアルアンテナに対応(オプション)
- 高解像度のデュアルまたはクアッド 4K UHD ディスプレイ対応
- 最大で USB 3.2 Gen2 の機器に対応
- ステレオアウト、モノラルのマイク入力に対応したアナログポート

注: Wi-Fi に対応していない機種にアンテナを付けて Wi-Fi 対応にすることは出来ません。Wi-Fi をご使用の予定がある場合は、あらかじめ Wi-Fi 対応機種をご購入ください。



1.2 デバイス管理について

次の構成および管理ツールを使用して、シンクライアントの構成及び管理が出来ます。

プリセッション画面:シンクライアントを起動するとプリセッション画面が表示されます。ホストへの接続及びデバイスの設定が出来ます。



シンクライアントプリセッション画面

● **デバイス管理ソフトウェア (DMS):** デバイス管理ソフトウェア (Device Management Software) は、シンクライア ントをリモートで設定、展開、および監視できるエンドポイントマネージャーです。

注: このガイドでは、プリセッション画面からシンクライアントを設定および管理する方法について説明します。 デバイス 管理ソフトウェアの詳細と、複数のシンクライアントをリモートで設定および管理する方法については、デバイス管理ソフ トウェア管理者ガイドを参照してください。



シンクライアントは、さまざまなホストデスクトップや周辺機器に接続できます。 このセクションでは、接続オプション の概要を説明します。

VDI ホストサポート

シンクライアントは以下の VDI ホストに接続出来ます。

- VMware Horizon ソフトウェアホスト。PCoIP, Blast Extreme, RDP プロトコルに対応
- Citrix ソフトウェアホスト
- Microsoft RDP ソフトウェアホスト
- Teradici Cloud Access Software ホスト
- PCoIP Remote Workstation Card

USB デバイスサポート

シンクライアントは、USB 接続のキーボードやマウスなどのデバイスをサポートします。 大容量記憶装置やカスタム周辺 機器などの他の USB デバイスでは、ホストマシンで設定が必要になる場合があります。

1.4 プリセッション画面での電源管理

プリセッション画面で、電源アイコンをクリックすると、スリープ、再起動、電源オフのメニューが表示されます。



プリセッション画面の電源メニュー



2 シンクライアントの設定

このセクションでは、ネットワーク要件、シンクライアントを有線またはワイヤレスネットワークに接続する方法、および 基本的なユーザー設定を構成する方法について説明します。

2.1 ネットワークへの接続

シンクライアントを有線ネットワークに接続するには、イーサネットケーブルを使用してネットワークスイッチに接続しま す。 ワイヤレス接続を使用している場合は、アクセスポイントの設定を行います。なお、SSID のステルスモードには対応 しておりません。

有線または無線のネットワークステータスについて

<image><complex-block><complex-block><complex-block><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image><image>

次のように、プリセッション画面にネットワークステータスアイコンが表示されます。

プリセッション画面のネットワークステータスアイコン



ネットワークステータスアイコンは、ネットワーク接続の状態を反映して変化します。 以下の4つネットワーク状態があります。

アイコン	説明
	デバイスは有線ネットワークに接続され、正しく設定されています。
	デバイスは有線ネットワークに接続しようとしています。
	デバイスが有線または無線ネットワークに接続されていません。
	デバイスはワイヤレスネットワークに接続されています。 ワイヤレス信号の相対的な 強度は、緑色のバーの数で示されます。

Note: シンクライアントがワイヤレスネットワークに接続されている場合、有線ネットワークステータスアイコンは表示さ れません。 Wi-Fi 接続で接続している場合は, 🕥 のアイコンの代わりに 🔊 のアイコンが表示されます。

接続ステータスと IP アドレスを示すポップアップを表示するには、ネットワークアイコンにカーソルを合わせます。



ネットワークアイコンからネットワークステータスをすばやく表示できます

シンクライアントのネットワーク接続ステータスに関する詳細情報を取得するには、プリセッション画面の ひをクリック し、「ネットワークス状態」を選択して「ネットワーク状態」ページを開きます。 「ネットワーク状態」ページには、イー サネットまたは Wi-Fi 接続のステータスと、デバイスに割り当てられた IP アドレス、ネットワークマスク、ゲートウェイ アドレス、およびその DHCP サーバーアドレスが表示されます。



2.2 シンクライアントの情報表示

シンクライアントのプリセッション画面で、「システム情報」画面で、ハードウェアの情報、ネットワークのステータスが 確認できます。



情報アイコンを押して、システム情報を表示します

システム情報の表示

「システム情報」をクリックすると以下の様な画面が現れ、シンクライアントのさまざまな情報などが表示されます。 サポートサービスに連絡する必要がある場合は、この情報を知っておくと役立ちます。

システム情報		×
システム	システム	
ハードリステ	MACTFLZ	00:30:04:19:CE:EE
ネットワーク状態	Unique ID	00:30:04:19:CE:EE
著作権情報	シリアル番号	L20010001300
	ユーザー名	User
	モデル	EV300-TR
	ハードウェア・バージョン	Base Board Version
	BIOS	
	BIOSバージョン	12.30.9029
	BIOSビルド日付	2020/02/04

注:ここに示されているシステムページは一例です。 バージョンとビルド情報は異なります。



LvOS 管理者ガイド

「システム」ページには以下の情報が表示されます。:

- MAC アドレス
- ユニーク ID
- シリアル番号
- ユーザー名
- モデル
- ハードウェアバージョン
- BIOS バージョンとビルド日付
- OS バージョンとビルド日付

「ハードウェア」ページには以下の情報が表示されます:

- プロセッサー名と詳細
- メモリサイズ、スピード、使用量
- ストレージの使用量

「ネットワーク状態」ページには以下の情報が表示されます:

- 有線もしくは無線への接続
- IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- DHCP サーバーアドレス
- DNS サーバーアドレス

注: 管理者は「詳細設定」を構成することで、一般ユーザーに対しプリセッション画面に「システム情報アイコン」が表示 しないように設定できます。詳細についてはセクション 4.5 の「外観の設定」を参照してください。



2.3 シンクライアントの設定

このセクションでは、一般ユーザーがシンクライアント用に構成できるすべての基本設定について説明します。 これらの 設定は、プリセッション画面で構成できます。 設定には以下が含まれます:

- ディスプレイ
- USB ペリフェラル
- サウンド
- 言語



プリセッション画面の設定アイコン

これらの設定を構成するには、プリセッション画面で「設定」ボタンをクリックして「設定」ページを開きます。 「設 定」ページを終了するには、「設定」ページの左上隅にある戻るアイコン「←」をクリックして、戻ります。設定が変更さ れていると、プリセッション画面に戻る前に保存するか確認されます。



LvOS 管理者ガイド

これらの設定を行うには、プリセッション画面の「設定」ボタンをクリックして、設定ページを開きます。設定画面を出る には、設定画面の左上にある「←」アイコンをクリックすると、プリセッション画面に戻ります。

ディスプレイの設定

ディスプレイの構をカスタマイズできます。 以下に示すように、プライマリディスプレイ、デュアルスクリーンモード (ディスプレイの複製または拡張)、解像度、向き、およびモニタの電源を切る時間を構成できます

 読定 ディスプレイ 	ディスプレイ		
,====a USB周辺機器	-		検知
山山 音声	ディスプレイ 1:DP-	1	
🔁 言語	解像度	4096x2160	解像度を追加
	リフレッシュ速度	60.00	
	向き	横向き	
	ディスプレイの電源をオフにする	10分 -	

デュアルスクリーン対応のシンクライアントのディスプレイ設定項目は以下の通りです:

パラメーター	説明
"ディスプレイ" エリヌ	現在使用しているプライマリディスプレイに「1」を付けて表示します。設定中のディスプレ
	イは青色で表示されます。
検知	ディスプレイエリアにモニタが自動検出されない場合は「検知」をクリックします。
ディスプレイタイプ	接続されたディスプレイの接続タイプとポート番号を表示します。
プライマリディスプレイと	構成している現在のモニターをプライマリディスプレイとして設定します。 この設定は、デ
して設定	バイスによって2つのディスプレイが検出されたときに表示されます。
デュアルスクリーンエード	ドロップダウンメニューからデュアルスクリーンモードを構成します。 この設定は、2つの
	ディスプレイがデバイスによって正しく検出された場合に表示されます。
	選択しているディスプレイの解像度を表示します。ドロップダウンメニューから解像度を選
	択します。
解像度	「解像度を追加」ボタンをクリックします。これにより、「カスタム解像度を追加」ウィンド
	ウが表示されます。追加したい解像度を入力します。「OK」をクリックすると、ドロップダウ
	ンメニューにこの解像度が追加されます。設定したカスタム解像度がディスプレイに対応し



LvOS 管理者ガイド

ていない場合は、警告メッセージが表示され、新しいカスタム解像度を追加することはでき ません。新しいカスタム解像度がディスプレイに対応している場合は、「解像度」リストに表 示されます。 カスタム解像度を追加 使用する解像度を指定します。 X キャンセル カスタム解像度を追加している場合は、再度「解像度を追加」をクリックすると、追加した カスタム解像度が表示されます。「クリア」ボタンをクリックして「OK」を押すと、カスタム 解像度が削除されます。 選択したディスプレイの向きを表示します。 ドロップダウンメニューから向きを変更できま 向き す。 ディスプレイの電源をオフ 一定の期間操作が無かった場合にディスプレイの表示をオフにする時間を設定します。 ドロ にする ップダウンメニューから時間を選択します。

注: ディスプレイエリアのディスプレイ2をクリックすると、このディスプレイを設定するためのディスプレイ2の設定 オプションが表示されます。 ディスプレイエリアで1画面しか検出されない場合は、それに応じて設定項目が変わりま す。.



USB 周辺機器の設定

セッション前の表示で情報を入力するときに使用するキーボードレイアウトを構成できます。 以下に示すように、カーソ ル速度やその他のキーボード/マウス関連の設定を構成することもできます。

÷ •• 設定	キーボード	
ディスプレイ	標準キーボード	
₩₩₩ USB周辺機器	文字繰り返し遅延文字繰り返し速度	0 ★ • ★
山山 音声	カーソル点滅率	* • *
▶ 言語	テストエリア	ここをクリックして上記の設定をテストします。
	マウス	
	ボタン設定	💿 左利き 💿 右利き

シンクライアント用に、以下のキーボード/マウス設定を構成できます。

パラメーター	説明
標準キーボード	プリセッション画面で情報を入力するときに使用するキーボードレイアウトを構成しま
	す。 ドロップダウンメニューからキーボードレイアウトを変更できます。
文字繰り返し遅延	キーボードのキーを押し続けると、最終的にそのキーがリピートされます。 キーを押して
	からリピートを開始するまでが繰り返し遅延です。 スライダーを使用して、繰り返しの遅
	延を調整できます。
文字繰り返し速度	キーボードのキーを押し続けると、キーがリピートします。 リピートの速度は文字繰り返
	し速度で調整します。
カーソルの点滅率	カーソルの点滅する間隔を調整します。
テストエリア	このテストエリアで文字のの繰り返しの遅延と速度をテストできます。 選択したカーソル
	の点滅速度もこの領域に表示されます。
ボタン設定	マウスボタンを右利きまたは左利きとして構成します。



音声の設定

以下のページで、ヘッドフォン/スピーカーの音量とマイクの音量を設定できます。

設定	音声	
ディスプレイ	スピーカー	内部オーディオ アナログステレオ
	スピーカー音量	46 %
₩≝ 🕹 USB周辺機器	マイク	内部オーディオ アナログステレオ
山山 音声	マイク音量	
▶ 言語		

サウンド設定は以下の通りです。

パラメーター	説明
スピーカー音量	スライダーを動かして、デバイスのスピーカーとヘッドフォンの音量を調整します。
マイク音量	スライダーを動かして、マイクの録音音量を調整します。

注:プリセッション画面の音量アイコン

 をクリックすると、音量をすばやく設定したり、スピーカー/ヘッドフォンを
 ミュートしたりできます。



言語の設定

以下のページでプリセッション画面の表示インターフェイスの言語を変更できます。 これはユーザーインターフェイスに のみ影響します。 VDI セッションのインターフェイスとコンテンツには影響しません。

·	言語		
一 ディスプレイ	言語を選択	日本語	
₩₩ USB周辺機器			
言語			



3 VDI への接続

このセクションでは、ソフトウェアホストとの VDI セッションや、リモートワークステーションカードとのリモートワーク ステーションセッションを確立する方法について説明します。トピックは以下の通りです。

- VMware Horizon ソフトウェアホストへの接続
- Citrix ソフトウェアホストへの接続
- Microsoft RDP ソフトウェアホストへの接続
- Teradici Cloud Access Software ホストおよびリモートワークステーションカードへの接続

管理者または詳細設定権限を持つユーザーは、詳細設定で VDI への接続やリモートワークステーションカードを備えたワー クステーションへの接続を構成することができます。 管理者は、デバイス管理ソフトウェア(DMS)を使用して、シンク ライアントのグループの接続設定を構成することもできます。

注:詳細設定に入るには、管理者のユーザー名とパスワードを入力する必要があります。 デフォルトのユーザー名とパス ワードはどちらも「Administrator」です。



3.1 VMware Horizon ソフトウェアホストへの接続

この手順により、VMware Horizon ソフトウェアホストへの接続が可能になります。すでに構成されている場合は、プリセッション画面の「接続」から選択することが接続出来ます。

VMware Horizon ソフトウェアホストへの接続を構成する:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックします。「設定」ページで、「詳細設定」をクリックして管理者用の設定画面 に入ります。
- 2. 「接続構成」をクリックして、新しい VMware Horizon ホスト接続を追加します。

パスワード 接続構成	接続構成	
電源管理		自動接続 新規
ネットワーク設定	VMware	
セキュリティ設定		
証明書の設定		JAN 17
日時の設定	接続久	Mware PCoIP
BIOS兼OS 更新	接続タイプ	Mware •
ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定 端末 デバイス管理設定	9 接続方法 サーバー	標準 •
リセット	ユーザー名	
イベントログ	ドメイン	
终了	Webカメラおよび音声鈔	音
	スマートカード	
	クライアントドライブ	有效 ◎ 無效
	接続プロトコル	PCoIP
	未検証の接続の設定	許可
	切断後の自動再接続	◎ 有効 ⑧ 無効
	NFM经/=面按结	

- 2. 新しい VMware Horizon ホスト接続を作成するには、接続名を入力し、接続タイプとして VMware を選択します。
- 3. VMware Horizon のセッションでは以下の接続設定を構成します。

パラメーター	説明
接続方法	VMware デスクトップにアクセスするには、次の2つの認証方法があります。
	● 通常-ユーザー名とパスワードを使用してセッションにログインする場合に選択しま
	す。
	● スマートカードログイン-スマートカードを使用してセッションにログインする場合に
	選択します。 ユーザー名、パスワード、およびドメインは必要ありません。
サーバー	VMware Horizon ホストの IP アドレス、FQDN、または URI を入力します。
ユーザー名	VMware Horizon ホストのユーザー名を入力します。 ユーザー名とパスワードのフィール

Copyright© 2021 ELSA Japan, Inc.

19

	ドを空白のままにした場合は、VMware Horizon のログインダイアログボックスにユーザ
	一名とパスワードを入力する必要があります。
パスワード	VMware Horizon ホストのパスワードを入力します。 ユーザー名とパスワードのフィール
	ドを空白のままにした場合は、VMware Horizon のログインダイアログボックスにユーザ
	ー名とパスワードを入力する必要があります。
ドメイン	VMware Horizon ホストのドメインを入力します。
Web カメラ及び音声の録音	Web カメラおよびオーディオ録音デバイスを許可します。
スマートカード	スマートカードを認証できます。
クライアントドライブ	大容量記憶装置を認証することができます。
プロトコル	VMware Blast、PCoIP、または Microsoft RDP から表示プロトコルを選択します。
未検証の接続の設定	サーバー証明書の検証モードを設定します。
	● 拒否-証明書が検証チェックのいずれかに失敗した場合、接続を拒否します。
	● 警告-警告しますが、自己署名証明書を使用する接続を許可します。
	● 許可-検証できない接続を許可します。
自動接続	デバイスの起動直後に自動的に接続を開始します。開始する接続をリストから選択しま
	す。
切断後の自動再接続	セッションが切断された後、自動的に再接続します。
N 秒後に再接続	セッションの切断が発生した後、再接続を開始するまでの時間を秒単位(1~3600)で入力
	します。 このフィールドは、「切断後の自動再接続」をアクティブにすると有効になりま
	す。
共有フォルダ	特定の仮想マシンのフォルダ共有を有効または無効にすることができます。仮想マシン間
	で共有するフォルダを設定するには、各仮想マシンがホストシステムまたはネットワーク
	共有の同じディレクトリを使用するように設定する必要があります。
スマートカードドライバーの	カードに一致するスマートカードドライバを選択します。 「接続方法」で「スマートカー
選択	ドログイン」を選択すると、このフィールドが有効になります。

4. 「保存」をクリックして接続設定を保存します。

5. 「終了」をクリックして「詳細設定」から抜けます。

接続する

VMware Horizon ソフトウェアホストに接続する前に、次の条件が満たされていることを確認してください。

- シンクライアントは、有線または無線ネットワークに接続されています。
- 接続する VMware Horizon ソフトウェアホストには、シンクライアントが接続されているネットワークからアクセス できます。
- VMware Horizon ソフトウェアホストは、「接続構成」で構成されています。

VMware Horizon ソフトウェアホストに接続するには:

- 1. プリセッション画面で、「接続」アイコンをクリックし、接続する VMware Horizon ソフトウェアホストを選択しま す。
- 2. シンクライアントのセッション LED が緑色に点灯し、VDI 接続が成功したことを示します。
- 3. 通常のデスクトップ PC と同じようにクライアントを使用します。

ELSA

セッションからの切断

VDIのデスクトップで切断すると、 シンクライアントはプリセッション画面に戻ります。

セッションから切断しても、デスクトップまたはホストの状態は変わりません。 アクティブなままで、アプリケーション は開いたままで、進行中のプロセスはすべて続行されます。 一部のサービスは、切断後、または特定のアイドル時間後に 仮想マシンをスピンダウンまたは破棄する場合がありますが、マシンはアクティブのままであり、従量制サーバーは引き課 金されると想定する必要があります。

仮想デスクトップセッションから切断するには、次のいずれかのアクションを実行します。

- VMware Horizon ツールバーの「切断」ボタンをクリックする。
- Ctrl+Alt+Delete を押して「切断」をクリックする。
- シンクライアントの電源ボタンを素早く1回押す。

注:電源ボタンの動作は、電源ボタン機能オプションによって決まります。 電源ボタン機能オプションは、プリセッション ン画面から「設定」--「詳細設定」ページにあります。 「電源管理」ページで、「電源ボタン機能」の「セッション切断」 を選択し、電源ボタンを押してセッション切断機能を有効にします。

注:一部のサードパーティアプリケーション(TeamViewer など)のツールバーが、VMware Horizon Client のツールバー と競合する場合があります。マウスがツールバーを指すと、ツールバーが正常にドロップダウンしない場合があります。こ の問題を回避するには、Ctrl+Alt+X キーを使用してセッションを切断し、VMware Horizon セッションからセッション前の 表示に切り替える必要があります。



3.2 Citrix ソフトウェアホストへの接続

この手順により、Citrix ソフトウェアホストへの接続が可能になります。 すでに構成されている場合は、プリセッション画面の「接続」から選択することが接続出来ます。

Citrix ソフトウェアホストへの接続を構成するには:

- 1. セッション前の画面で「設定」をクリックします。「設定」ページで、「詳細設定」をクリックして管理者用の設定画面 に入ります。
- 2. 「接続構成」をクリックして、新しい Citrix ホスト接続を追加します。

パスワード	****			
接続構成	按顺桶瓜			
電源管理	in the second se		自動接続	新規
ネットワーク設定	VMware PCoIP			削除
セキュリティ設定				
証明書の設定				DX19
日時の設定				
BIOS兼OS 更新	接続タイプ Citrix	T		
ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定 端末 デバイス管理設定 リセット イベントログ 終了	接続方法 サーバー ユーザー名 パスワード ドメイン ストア名 Delivery Controller 接続ットモード アプリケーション名 ウェブカメラ スマートカード クライアントドライブ シリアルポート 切断後の自動再接続 N秒後に再接続	StoreFront	▼ ■ • • • • • • • • • • • • •	
	N秒後に再接続	1~3600		

- 3. 新しい Citrix ホスト接続を作成するには、「接続名」を入力し、「接続タイプ」として Citrix を選択します。
- 4. Citrix セッション用に次の接続設定を構成します:



パラメーター	説明
接続方法	Citrix デスクトップへのアクセスを設定するための3つの使用例があります。
	● StoreFront-このユースケースはセキュリティを強化し、ユーザーがドメイン名をカスタマ
	イズできるようにします。 この展開タイプは、StoreFront をすでに展開している Citrix デ
	スクトップのお客様に推奨されます。
	● Web-ユーザーはブラウザーで Web サイトを開き、Citrix デスクトップを介して公開され
	たアプリケーション、データ、およびデスクトップに安全にアクセスできます。
	● スマートカードログイン-スマートカードを使用してセッションにログインする場合に選択
	します。 ユーザー名、パスワード、ドメイン、接続モードは必要ありません。
サーバー	Citrix ホストの IP アドレス、FQDN、または URI を入力します。
ユーザー名	Citrix ホストのユーザー名を入力します。 ユーザー名とパスワードのフィールドを空白のまま
	にした場合は、Citrix ログインダイアログボックスにユーザー名とパスワードを入力する必要が
	あります。
パスワード	Citrix ホストのパスワードを入力します。 ユーザー名とパスワードのフィールドを空白のまま
	にした場合は、Citrix ログインダイアログボックスにユーザー名とパスワードを入力する必要が
	あります。
ドメイン	Citrix ホストのドメインを入力します。
ストア名	Citrix ホストのストア名を入力します。
Delivery Controller	Citrix ホストの配信を入力します。
接続モード	接続モードとして HTTP または HTTPS を選択します。 実稼働環境では HTTPS を使用するこ
	とをお勧めします。
アプリケーション名	「クエリ」を押して、アプリケーション名を受け取ります。
URL	Web インターフェイスの展開の場合は、Citrix Virtual Apps and Desktops Services サイトの
	URL を指定します。
ウェブカメラ	ウェブカメラの使用を許可します。
スマートカード	スマートカードの使用を許可します。
クライアントドライブ	大容量記憶装置の使用を許可します。
シリアルポート	USB-シリアル変換アダプタを使用してクライアントの USB ポートに接続されているシリアル
	デバイスを許可します。
自動接続	デバイスの起動直後に自動的に接続を開始します。開始する接続をリストから選択します。
切断後の自動接続	セッションが切断された後、自動的に再接続します。
N 秒後に再接続	セッションの切断が発生した後、再接続を開始するまでの時間を秒単位(1~3600)で入力しま
	す。 このフィールドは、「切断後の自動再接続」をアクティブにすると有効になります。
スマートカードドライバ	使用するスマートカードに適合するドライバーを選択します。「接続方法」で「スマートカード
ーの選択	ログイン」が選択されているとこのフィールドが有効になります
スマートカードの取り外	セッション中にスマートカードを取り外したときの動作を指定します。「接続方法」で「スマー
しアクション	トカードログイン」が選択されているとこのフィールドが有効になります

5. 「保存」をクリックして接続を保存します。

6. 「終了」をクリックして詳細設定を閉じます。



接続する

Citrix ソフトウェアホストに接続する前に、次の条件が満たされていることを確認してください。

- シンクライアントは、有線または無線ネットワークに接続されています。
- 接続する Citrix ソフトウェアホストには、シンクライアントが接続されているネットワークからアクセスできます。
- Citrix ソフトウェアホストは「接続構成」で構成されています。

Citrix ソフトウェアホストに接続するには:

- 1. プリセッション画面で、「接続」アイコンをクリックし、接続する Citrix ソフトウェアホストを選択します。
- 2. シンクライアントが VDI に接続すると、セッション LED が緑色に点灯します。
- 3. 通常のデスクトップ PC と同じようにクライアントを使用します。

セッションからの切断

VDI セッションから切断すると、プリセッション画面に戻ります。

セッションから切断しても、デスクトップまたはホストの状態は変わりません。 アクティブなままで、アプリケーション は開いたままで、進行中のプロセスはすべて続行されます。 一部のサービスは、切断後、または特定のアイドル時間後に 仮想マシンを停止させるかまたは破棄する場合がありますが、マシンはアクティブのままであり、従量制サーバーは引き課 金されると想定する必要があります。

仮想デスクトップセッションから切断するには、次のいずれかのアクションを実行します。

- OS からログオフする。
- シンクライアントの電源ボタンを1回押す。

注:電源ボタンの動作は、電源ボタン機能オプションによって決まります。 電源ボタン機能オプションは、プリセッション ン画面から「設定」--「詳細設定」ページにあります。 「電源管理」ページで、「電源ボタン機能」の「セッション切断」 を選択し、電源ボタンを押してセッション切断機能を有効にします。



3.3 Microsoft RDP ソフトウェアホストへの接続

この手順により、RDP ソフトウェアホストへの接続が可能になります。 すでに構成されている場合は、プリセッション画面の「接続」から選択することが接続出来ます。

Microsoft RDP ソフトウェアホストへの接続を構成するには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックします。 「設定」ページで、「詳細設定」をクリックして管理者用の設定画 面に入ります。
- 2. 「接続構成」をクリックして、新しい RDP ホストへの接続を追加します。

パスワード	接続構成						
電源管理			_		_	自動接続	
ネットワーク設定	VMware PCoIP						
セキュリティ設定							
証明書の設定							1
日時の設定	接続名						
BIOS兼OS 更新	接続タイプ	RDP		•			
ロゴのアップロードおよびデスク トップの歌字				_			-
ドップの設定 端末	接続方法		標準		7		
デバイフ管理設定	サーバー		_				
	ボート		0~6553	5			
ノセット	ユーザー名						
イベントログ	パスワード					0	
7	ドメイン						
	ウェブカメラ		◎ 有効	◎ 無効			
	スマートカード		◎有効	◎ 無効			
	クライアントドライブ		◎ 有効	◎ 無効			
	シリアルポート		◎有効	◉ 無効			
	リモートアプリケーシ	з×					
	自動再接続		◎有効	◎ 無効			
	NLA		RDP				
	速度レベル		自動		· •		
	音声		ローカル	L	•		L
	暗号化レベル		行わない	.)	•		
	壁紙		● 有効	◎ 無効			
	フォントスムージング		◎有効	◎ 無効			

- 3. 新しい RDP ホスト接続を作成するには、「接続名」を入力し、「接続タイプ」として RDP を選択します。
- 4. RDP セッション用に次の接続設定を構成します。

パラメーター	説明
接続方法	RDP デスクトップにアクセスするには、次の2つの認証方法があります。:
	● 標準-ユーザー名とパスワードを使用してセッションにログインする場合に選択しま



	す。
	● スマートカードログイン-スマートカードを使用してセッションにログインする場合
	に選択します。 ユーザー名、パスワード、およびドメインは必要ありません。
サーバー	RDP ホストの IP アドレス、FQDN、または URI を入力します。
ポート	RDP ホストのポートを入力します。
ユーザー名	RDP ホストのユーザー名を入力します。
パスワード	RDP ホストのパスワードを入力します。
ドメイン	RDP ホストのドメインを入力します。
ウェブカメラ	ウェブカメラの使用を許可します。
スマートカード	スマートカードの使用を許可します。
クライアントドライブ	大容量記憶装置の使用を許可します。
シリアルポート	USB-シリアル変換アダプタを使用してクライアントの USB ポートに接続されているシリ
	アルデバイスを許可します。
リモートアプリケーション	アプリケーション名を入力して、リモートアプリケーションを起動します。
自動再接続	有効にすると、セッションが失われたときに、クライアントが最後に接続されたホストに
	自動的に再接続できるようにします。
NLA	ホストでネットワークレベル認証(NLA)が有効になっている場合、完全なリモートデス
	クトップ接続を確立する前に、ホストで NLA ユーザー認証が必要になり、ログイン画面が
	表示されます。
速度レベル	パフォーマンスを最適化するための接続速度を選択してください。
	● モデム
	● 高速ブロードバンド
	● 低速ブロードバンド
	• WAN
	• LAN
	● 自動
音声	リモートセッションのオーディオをローカルデバイスにリダイレクトするか、ローカルデ
	バイスのリモートセッションでオーディオを再生しないようにするか、リモートセッショ
	ンでオーディオを再生したままにするかを選択できます。
	● ローカル
	● リモート
	● オフ
暗号化レベル	「標準」または「行わない」のいずれかの暗号化レベルを選択します。 データ暗号化設定
	のあるサーバーの場合、暗号化レベルとして「標準」を選択する必要があります。
壁紙	RDP ホストで壁紙の使用を許可します。
フォントスムージング	RDP ホストでフォントスムージングを許可します。
RemoteFX	RDP ホストで RemoteFX を許可します。
ウィンドウのコンテンツ	画面上でウィンドウをドラッグした時に、ウィンドウの内容が表示されます。
キーボードイベント	接続ウィンドウ内のすべてのキーボードイベントを接続のアプリケーションに送信できる
	ようにします。
圧縮	RDP ホストの圧縮を有効にできます。
低帯域幅	低帯域幅での最適化を有効にすると、次のオプションが自動的に無効になります。
	● 壁紙
	● フォントスムージング



	RemoteFX
	● ドラッグ中のウインドウ内のコンテンツ表示
自動接続	デバイスの起動直後に自動的に接続を開始します。開始する接続をリストから選択しま
	र्च.
切断後の自動再接続	セッションが切断された後、自動的に再接続します。
N 秒後に再接続	セッションの切断が発生した後、再接続を開始するまでの時間を秒単位(1~3600)で入力
	します。 このフィールドは、「切断後の自動再接続」をアクティブにすると有効になりま
	す。

5. 「保存」をクリックして接続を保存します。

6. 「終了」ヲクリックして詳細設定を閉じます。

接続する

RDP ソフトウェアホストに接続する前に、次の条件が満たされていることを確認してください。

- シンクライアントは、有線または無線ネットワークに接続されています。
- 接続する RDP ソフトウェアホストには、シンクライアントが接続されているネットワークからアクセスできます。
- RDP ソフトウェアホストは「接続構成」で構成されています。

RDP ソフトウェアホストに接続するには:

- 1. プリセッション画面で、「接続」アイコンをクリックし、接続する RDP ソフトウェアホストを選択します。
- 2. シンクライアントが VDI に接続すると、セッション LED が緑色に点灯します。
- 3. 通常のデスクトップ PC と同じようにクライアントを使用します。

セッションからの切断

VDI セッションから切断すると、プリセッション画面に戻ります。

セッションから切断しても、デスクトップまたはホストの状態は変わりません。 アクティブなままで、アプリケーション は開いたままで、進行中のプロセスはすべて続行されます。 一部のサービスは、切断後、または特定のアイドル時間後に 仮想マシンを停止させるかまたは破棄する場合がありますが、マシンはアクティブのままであり、従量制サーバーは引き続 き実行されると想定する必要があります。

仮想デスクトップセッションから切断するには、次のいずれかのアクションを実行します。

- OS からログオフする。
- シンクライアントの電源ボタンを1回押す。

注: 注:電源ボタンの動作は、電源ボタン機能オプションによって決まります。 電源ボタン機能オプションは、プリセッション画面から「設定」--「詳細設定」ページにあります。 「電源管理」ページで、「電源ボタン機能」の「セッション切断」を選択し、電源ボタンを押してセッション切断機能を有効にします。

IELSA

3.4 Teradici Cloud Access Software ホストまたはリモートワークステーションカードへ 接続

この手順により、Teradici Cloud Access Software ホストへの接続が可能になります。 すでに構成されている場合は、プリ セッション画面の「接続」から選択することが接続出来ます。

注: AWS、Google Cloud、Microsoft Azure などのプライベートクラウドまたはパブリッククラウド上の Windows または Linux ホストに接続できます。

Teradici Cloud Access Software ホストまたはリモートワークステーションカードへの接続を構成 する

- 1. セッション前の画面で「設定」をクリックします。 「設定」ページで、「詳細設定」をクリックして管理者ようの設定 画面に入ります。
- 2. 「接続構成」をクリックして、新しい Teradici Cloud Access Software ホスト接続を追加します。

パスワード	接結構成			
接続構成	13cm/b/Herring			
電源管理			自動接続	新規
ネットワーク設定	VMware PCoIP			削除
セキュリティ設定				保存
証明書の設定				
日時の設定	接続名			
BIOS兼OS 更新 ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定 端末 デバイス管理設定 リセット イベントログ 終了	接続タイプ サーバー 未検証の接続の設定 切断後の自動再接続 N秒後に再接続	ci PCoIP * 警告するが許可する * © 有効 ® 無効 1-3600		

- 3. 新しい Teradici Cloud Access Software ホスト接続を作成するには、「接続名」を入力し、「接続タイプ」として Teradici PCoIP を選択します。
- 4. Teradici Cloud Access Software セッションでは以下の接続設定を構成します:

パラメーター	説明
サーバー	Teradici Cloud Access Software ホスト へ直接接続する場合は、ホストの IP アドレス、



	FQDN 、または URI を入力します。 Teradici PCoIP Connection Manager やサードパー
	ティのブローカーを使う場合は、それらの IP アドレス、 FQDN 、または URI を入力し
	ます。
	PCoIP リモートワークステーションカードへの直接接続は、PCoIP リモートワークステー
	ションカードがインストールされているワークステーションにインストールされた PCoIP
	Remote Workstation card Agent トソフトウェアを経由して行われます。リモートワーク
	ステーションカードに接続するには、リモートワークステーションの IP アドレスまたは
	PCoIP コネクションブローカー のアドレスを入力してください。
未検証の接続の設定	サーバー証明書の検証モードを設定します。
	● 完全な検証-証明書を検証できない限り、ユーザーは接続できません
	● 警告するが許可する-証明書を検証できない場合、「信頼できないサーバー」の警告が
	表示され、クライアントのログイン画面に赤いロック解除された錠のアイコンが表示
	されます。 ユーザーは引き続き接続するオプションがあります。
	● 必要ありません-クライアントのログイン画面に、ロックされていない赤い錠のアイコ
	ンが表示されます。
自動接続	接続構成のリストで「自動接続」にチェックを入れると自動的に接続します。
切断後の自動再接続	「有効」を選択すると、セッションが切断された後、自動的に 再接続します 。
N 秒後に再接続	セッションの 切断が発生した後 、 再接続 を開始するまでの 時間を秒単位(1~
	3600)で入力します。 このフィールドは 、 「 切断後 の 自動再接続 」 をアクティブ
	にすると有効になります。

5. 「保存」をクリックして接続設定を保存します。

6. 「 終了 」をクリックして「詳細設定」から抜けます。

接続する

Teradici Cloud Access Software ホストまたはリモートワークステーションカードに接続する前に、次の条件が満たされて いることを確認してください。:

- シンクライアントは、有線または無線ネットワーク に接続されてい る 。
- 接続する Teradici Cloud Access Software ホストまたはリモートワークステーションカードには、シンクライアント が接続されているネットワークからアクセスでき る 。
- Teradici Cloud Access Software ホストまたはリモートワークステーションカードは、「接続構成」で構成されます。

Teradici Cloud Access Software ホストまたはリモートワークステーションカードに接続するには:

- プリセッション画面で「接続」アイコンをクリックし、接続する Teradici Cloud Access Software ホストまたはリモー トワークステションカードをを選択します。
- シンクライアントのセッション LED が緑色に点灯し、VDI またはリモートワークステーションへの接続が成功したことを示します。
- 3. 通常のデスクトップ PC と同じようにクライアントを使用します。



セッションからの切断

VDI セッションから切断するとシンクライアントは プリセッション画面 に戻ります。

セッションから切断しても、デスクトップまたはホストの状態は変わりません。アクティブなままで、アプリケーションは 開いたままで、進行中のプロセスはすべて続行されます。一部のサービスは、切断後、または特定のアイドル時間後に仮想 マシンをスピンダウンまたは破棄する場合がありますが、マシンはアクティブのままであり、従量制サーバーは引き続き実 行されると想定する必要があります。.

PCoIP のセッションから切断するには、次のいずれかのアクションを実行します。

- 接続先のデスクトップからサインアウトする。
- Ctrl+Alt+F12を押す。
- 電源ボタンを素早く1回クリックする。



4 詳細設定

このセクションでは、証明書、BIOS、およびオペレーティングシステムのアップロード、デバイスのリセット、デバイス管 理ソフトウェアへの接続、VPN の設定イベントログ情報の表示など、シンクライアントの管理方法について説明します。

一部の設定は直接構成できますが、シンクライアントは通常、デバイス管理ソフトウェアを使用してグループで管理されます。このセクションには、このエンドポイントマネージャへの接続に関する詳細情報が含まれています。デバイス管理ソフトウェアを使用して設定を構成する方法の詳細については、『デバイス管理ソフトウェア管理者ガイド』を参照してください。

このセクションでは、プリセッション画面を使用して構成できるすべての設定を説明する構成リファレンスも提供します。

4.1 シンクライアントへ、証明書、BIOS,OS をアップロードする

プリセッション画面の詳細設定から証明書や BIOS、OS をアップロードすることが出来ます。

証明書のアップロード

セキュリティ設定で証明書が必要な場合は、VDI 接続を開始する前に、それらをシンクライアントの証明書ストアにアップ ロードする必要があります。

パスワード 接続構成	証明書の設定			
電源管理	証明書		閲覧	インボート
ネットワーク設定	アップロードされた証明書			
セキュリティ設定	発行先	元行者	有効期限	
証明書の設定				
日時の設定				
BIOS兼OS 更新 ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定 端末				
デバイス管理設定				
リセット			詳細	削除
イベントログ				
終了				

証明書をアップロードするには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「証明書の設定」セクションで、「閲覧」をクリックしてアップロードする証明書を選択します
- 3. 「インポート」をクリックして証明書をアップロードします。
- 4. 証明書は「アップロードされた証明書」に一覧表示されます。



Issued To	Issued By	Expiration Date
mware-d1950-CA	vmware-d1950-CA	Sep 5 08:41:22 2037 GMT
		A contract of the second second

1. 「詳細」をクリックすると証明書の情報が確認できます。証明書を削除したい場合は、証明書を選択して「削除」をク リックします。

Isaldeti (t	i lissund £v	Expiration Date
vmware-d1950-CA	vmware-d1950-CA	Sep 5 08:41:22 2037 GMT
Key	Value	
Version	3 (0x2)	
Serial number	24:69:18:68:4b:64:d0:bb:4d:45:c6:7d:d	3:98:86:88
Signature algorithm	sha1WithRSAEncryption	
Issuer	vmware-d1950-CA	
Valid from	Sep 5 08:31:23 2017 GMT	Rentoye
Valid to	Sep 5 08:41:22 2037 GMT	
Subject	vmware-d1950-CA	

BIOS および OS のアップデート

パスワード	NOCTOR THE
接続構成	BI03乗03 更新
電源管理	BIDS
ネットワーク設定	ファイル 閲覧
セキュリティ設定	
証明書の設定	更新
日時の設定	
BIOS兼OS 更新	OS .
ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定	ファイル 閲覧
端末	
デバイス管理設定	更新
リセット	

シンクライアントの BIOS と OS を更新するには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「BIOS 兼 OS 更新]セクションで、更新する BIOS または OS ファイルを参照します。
- 3. 「更新」をクリックして、BIOS または OS を更新します。



4.2 デバイスのリセット

すべてのデバイス設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットできます。 プリセッション画面の「設定」「詳細設定」から 実行できます。

設定をリセットするには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「リセット」セクションで、「リセット」をクリックします。
- 3. すべてのユーザー設定を工場出荷時のデフォルトにリセットするかどうかを確認するメッセージが表示されます。 リ セットを実行するには、「リセット」をクリックします。 シンクライアントが再起動します。

4.3 デバイス管理ソフトウェア用のシンクライアントの構成

シンクライアントは、デバイス管理ソフトウェアなどのエンドポイントマネージャーによってグループで管理されます。 エンドポイントマネージャがクライアントを管理する前に、クライアントはエンドポイントマネージャを確認し、それへの 接続を確立する必要があります。 この接続プロセスはディスカバリーと呼ばれます。

検出は自動または手動で行うことができ、どちらの側からでも開始できます。 エンドポイントマネージャはクライアント を検出でき、クライアントはエンドポイントマネージャを検出できます。 使用可能な検出方法は、選択したセキュリティ 設定、検出モード、およびインストールされている証明書によって決まります。 デバイス管理ソフトウェアでシンクライ アントを自動的に検出する方法の詳細については、「デバイス管理ソフトウェアデバイスディスカバリガイド」を参照して ください。

パスワード 接続構成	デバイス管理ソフトウェア(DMS)設定	
電源管理	DM5サーバー	自動同期
ネットワーク設定		
セキュリティ設定	保存	
証明書の設定		
日時の設定		
BIOS兼OS 更新		
ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定 端未		
デバイス管理設定		

クライアントから手動でデバイス管理ソフトウェアを検出する

デバイス管理ソフトウェアを使用してシンクライアントを構成するには、次の手順で行います。

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「デバイス管理設定」セクションで、[DMS サーバー]フィールドにデバイスマネージャーの URI を入力します。
- 3. [保存]をクリックします。

Copyright© 2021 ELSA Japan, Inc.



4.4 VPN のサポート

このセクションでは、シンクライアントと OpenVPN、L2TP、IKEv2 VPN ソリューションによる、レイヤード・セキュリ ティ・ポリシー・エンフォースメントのリファレンス実装について説明します。

注: VPN セッションが選択されていないシンクライアントの場合、プレセッション画面には VPN ステータスの アイコンは表示されません。VPN セッションが確立され、接続に成功すると、 OPT イコンが消え、代わりに のアイコンが表示されるようになります。

OpenVPN を設定する

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックします。「設定」ページで「詳細設定」をクリックし、管理者設定を行いま す。
- 2. 「VPN 設定」をクリックして、新しい VPN セッションを追加します。

パスワード	VONIERS									
接続構成	VPINAQUE									
電源管理	Man	セッション名			VPNタイプ		接続	彩	f規	6
ネットワーク設定	Office				OpenVPN			肖	1除	i i
VPN設定							N	15	存	
セキュリティ設定							νî.			
証明書の設定	セッション名	Office						1		
日時の設定	VPNタイプ	OpenVPN	Ŧ							
BIOS菓OS 更新 ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定	ユーザー名 パスワード					0				
墙木	方法		設定ファイル	をアップロー	ドする・					
デバイス管理設定	設定ファイル						閲覧			
リセット	Caファイル						閲覧			
イベントログ	ローカル証明書ファ・	TH					閲覧			
終了	ローカル秘密鍵		-				閲覧			

- 3. 新しい OpenVPN セッションを作成するには、セッション名を入力し、VPN タイプとして OpenVPN を選択します。
- 4. 4. OpenVPN セッションの VPN 設定を以下のように行います。



Parameter	Description
ユーザー名	VPN セッションのユーザー名を入力します。
パスワード	VPN セッションのパスワードを入力します。目玉アイコンをクリックしている間、パスワー
	ドが表示されます。
方法	以下の2通りの接続方法があります。
	● 設定ファイルをアップロードする ->設定ファイルから OpenVPN を起動する場合に
	選択します。
	● .ovpn ファイルをアップロードする -拡張子が .ovpn のファイルで OpenVPN を起動
	する場合に選択します。
設定ファイル	「方法」で「設定ファイルをアップロードする」を選択した場合、OpenVPN を起動するた
	めの設定ファイルのパスを指定します。
Caファイル	OpenVPN のインストールで使用したルート証明書のパスを指定してください。
ローカル証明書ファイル	クライアント証明書のパスを指定します。
ローカル秘密キー	クライアント証明書の秘密鍵を指定します。
.ovpn ファイル	「方法」で「.ovpn ファイルをアップロードする」を選択した場合は、OpenVPN を起動す
	るための .ovpn ファイルのパスを指定します。
「接続」チェックボックス	セッションリストから希望する VPN セッションの「接続」チェックボックス選択すると、
	自動的に VPN セッションが開始されます。ボックスのチェックを外すか、他の VPN セッ
	ションを選択すると、その VPN セッションを停止します。

1. 「保存」をクリックすると、接続情報が保存されます。

2. 「終了」ボタンをクリックすると、「詳細設定」を終了します。



L2TP を設定する

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックします。設定」ページで、「詳細設定」をクリックして、管理者用の設定を 行います。
- 2. VPN 設定」をクリックして、新しい VPN セッションを追加します。

パスワード	VPN設定					
接続構成		_			_	
電源管理	Office	セッション名	_	VPNタイプ OpenVPN	按続	新規
ネットワーク設定				spentra		削除
VPN設定						保存
セキュリティ設定						
証明書の設定	セッション名	Office				R
日時の設定	VPNタイプ	L2TP	÷			
BIOS東OS 更新 ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定 端末 デバイス管理設定 リセット イベントログ 終了	サーバーアドレス ユーザー名 パスワード 事前共有鍵				>	

- 3. 新しい L2TP セッションを作成するには、セッション名を入力し、VPN タイプとして L2TP を選択します。
- 4. L2TP セッションの VPN 設定を以下のように行います。

Parameter	Description
サーバーアドレス	VPN セッションの IP アドレスを入力します。
ユーザー名	VPN セッションのユーザー名を入力します。
パスワード	VPN セッションのパスワードを入力します。目玉アイコンをクリックしている間、パスワー
	ドが表示されます。
事前共有鍵	VPN サーバーの設定時に作成した L2TP の事前共有鍵を入力します。
「接続」チェックボックス	セッションリストから希望する VPN セッションの「接続」チェックボックス選択すると、
	自動的に VPN セッションが開始されます。ボックスのチェックを外すか、他の VPN セッ
	ションを選択すると、その VPN セッションを停止します。

- 5. 「保存」をクリックすると、この接続情報が追加されます。
- 6. 「終了」 をクリックして 「詳細設定」を終了します。

ELSA

IKEv2 を設定する

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックします。「設定」ページで「詳細設定」をクリックし、管理者設定を行いま す。
- 2. 「VPN 設定」をクリックして、新しい VPN セッションを追加します。

パスワード	VENAR					
接続構成	VT INEXAE					
電源管理		toriai/&		VPNタイプ	接続	新規
ネットワーク設定	Office			OpenVPN		削除
VPN設定						保住
セキュリティ設定						
証明書の設定	セッション名	Ĩ.				
日時の設定	VPNタイプ	IKEv2	•			
BIOS兼OS 更新 ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定 端末 デバイス管理設定 リセット イベントログ 終了	サーバーアドレス ユーザー名 パスワード 証明書ファイル				閲覧	

- 3. IKEv2 セッションを新規に作成するには、セッション名を入力し、VPN タイプとして IKEv2 を選択します。
- 4. IKEv2 セッションに対して、以下の VPN 設定を行います。

パラメーター	説明
サーバーアドレス	VPN セッションのサーバーアドレスを入力します。
ユーザー名	VPN セッションのユーザー名を入力します。
パスワード	VPN セッションのパスワードを入力します。目玉アイコンをクリックしている間、パスワ
	ードが表示されます。
証明書ファイル	IKEv2 をインストールしたサーバー証明書のパスを参照します。
「接続」 チェックボックス	セッションリストから希望する VPN セッションの「接続」チェックボックス選択すると、
	自動的に VPN セッションが開始されます。ボックスのチェックを外すか、他の VPN セッ
	ションを選択すると、その VPN セッションを停止します。

- 5. 「保存」をクリックすると、この接続情報が追加されます。
- 6. 「終了」をクリックして「詳細設定」 を終了します。



4.5 シンクライアントに関するイベントログの表示

イベントログのリストは、「イベントログ」ページから表示できます。ログファイルをエクスポートする必要がある場合 は、ファイルを保存する場所を選択し、「エクスポート」をクリックしてファイルを保存できます。

パスワード		
接続構成	1~2502	
電源管理	DatAfor::sput/pySetting::Language Locale::Set language("ja_JP")	
ネットワーク設定	Vacang/r:applygescungs.com (Main) DataMgn:lloadPgSettings	
セキュリティ設定	## SLOT_recv_req_NoBota: Error id: 109 ## SLOT_recv_req_NoBota: Error id: 109	
証明書の設定	## SLOT_recv_req_NoData: Error id: 109 ## SLOT_recv_req_NoData: Error id: 100 DataMgr:10adartoffAdvSettings	
日時の設定	(Settings) (Main) DetaMgr:/loadpGettings	
BIOS兼OS 更新	(Setting:) (Advance) DetaMgr:IoadPartOfAdvSettings	
ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定	(Settings) (Nain) DataMgn/:loadPgSettings	
端末	(Setting:) (Advance) Data#gr::loadpart0fAdvSetting:	
デバイス管理設定	DetaMpr:loadpSettings	
リセット	(Main) (Info) (Main)	
イベントログ	DataMgr::loadPgSettings (Settings)	
終了	パス 閲覧 エクスボート	2

イベントログを表示またはエクスポートするには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「イベントログ」を選択して、「イベントログ」ページを表示します。
- 3. 「閲覧」をクリックして、ログを保存する場所を選択します
- 4. 「エクスポート」をクリックします。

4.6 その他の設定

このセクションでは、シンクライアント用に構成できる他の設定について説明します。 リファレンスには次のものが含ま れます。

- パスワードの設定
- 電源管理の構成
- ネットワークの構成
- セキュリティの構成
- 日時の設定
- 外観の構成
- 端末の使用

ほとんどの場合、設定はプリセッション画面またはデバイス管理ソフトウェアのいずれかで構成できます。 プリセッション画面とデバイス管理ソフトウェアの両方で設定が構成されている構成の競合が発生した場合は、設定に対する最後の変更



が優先されます。

パスワードの設定

シンクライアントをオンにすると、ユーザーアカウントに自動的にログインします。 デフォルトでは、ユーザーアカウン トのパスワードは空白に設定されています。

詳細設定を開くには、管理者のユーザー名とパスワードを入力する必要があります。 デフォルトのユーザー名とパスワードはどちらも「administrator」です。

注:ユーザーアカウントとパスワードの両方のフィールドを空白のままにすると、シンクライアントの電源を入れた後、ユ ーザー名とパスワードの入力を求められることはありません。 ログイン画面が表示されず、パスワードがバイパスされま す。

パスワード	パフロード		
接続構成	1122-1-		
電源管理	ユーザーバスワード		
ネットワーク設定	アカウント	User	1
セキュリティ設定	古いパスワード		0
証明書の設定	新しいパスワード		0
日時の設定	新しいパスワードの確認	8	0
BIOS兼OS 更新 ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定 端末	保存 管理者バスワード		
デバイス管理設定	アカウント	Administrator	
リセット	古いパスワード		0
	新しいパスワード		0
#S1	新しいパスワードの確認	g	0
	保存		

ユーザーと管理者のパスワードを変更するには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「パスワード」セクションで、使用する新しいアカウント名やパスワードを入力します。
- 3. 「保存」をクリックして変更を保存します。

Copyright© 2021 ELSA Japan, Inc.



wake-on-LAN およびその他の電源管理設定を構成するには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「電源管理」セクションには、3つの電源設定があります。

パスワード	雨油菜油
接続構成	电尿管理
電源管理	Wake-On-LAN 🧕 有効 🔘 無効
ネットワーク設定	雷源ボタン機能 セッションの切断 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
セキュリティ設定	
証明書の設定	保存
日時の設定	

パラメーター	説明
Wake-on-LAN	シンクライアントを構成して、電源をオンにするか、スリープモードから復帰します。
電源ボタン機能	クライアントの電源ボタンの動作を構成します。
	● 無視:プリセッション画面または VDI セッションで、クライアントの電源ボタンを押
	しても何もしません。
	● スリープ:プリセッション画面または VDI セッションで、クライアントの電源ボタン
	をすばやく1回押すと、シンクライアントをスリープ状態にします。
	● 電源オフ:プリセッション画面または VDI セッションで、クライアントの電源ボタン
	をすばやく1回押すと、シンクライアントの電源をオフにします。
	● セッションの切断:VDI セッションで、クライアントの電源ボタンすばやく1回押す
	と、セッションを切断します。シンクライアントはプリセッション画面ります。

3. 「保存」をクリックして設定を保存します。



「ネットワーク設定」ページには、環境内の有線および無線接続が表示され、管理できます。 SSID のステルスモードには対応しておりません。



ネットワーク設定を構成するには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「ネットワーク設定」をクリックして、ネットワークマネージャーを開きます。
- 3. 有線または無線ネットワークのネットワーク設定を構成します。

注: 開いている全てのプログラムを確認したい場合は、画面左下にある アイコンをクリックしてください。



セキュリティの設定

LvOS 管理者ガイド

「セキュリティ設定」ページでは、端末へ接続するためのプロトコルの構成が出来ます。 セキュアシェル (SSH) は、ロ ーカルコンピューターとリモートコンピューターの間に安全なチャネルを作成するために使用されます。 エンドポイント マネージャーから VNC のシャドウイングを使用して、クライアントの画面を表示または制御します。 これは、管理者がク ライアントアクティビティをリモートで監視する必要がある場合、または離れた場所からクライアントを完全に制御する必 要がある場合に役立ちます。

パスワード 接続構成	セキュリティ設定	
電源管理	SSH 💩 有効 💿 無効	
ネットワーク設定	パスワード **********	0
セキュリティ設定		
証明書の設定	VNC ● 有効 ◎ 無効	
日時の設定		_
BIOS兼OS 更新	パスワード *******	0
ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定	ポート 5900	
端末		
デバイス管理設定	保存	

SSH および VNC 設定を構成するには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「セキュリティ設定」セクションで、SSH や VNC を有効または無効にできます。 両方ともデフォルトで無効になって います。
- 3. SSH および VNC 設定のパスワードとポートを構成します。
- 4. 「保存」をクリックします。



タイムゾーンの設定

プリセッション画面で正しい時間が表示されるようにタイムゾーンを更新します。

パスワード 接続構成	日時の設定
電源管理	時間表示形式 24時間
ネットワーク設定	タイムゾーン GMT+09:00 ・
セキュリティ設定	
証明書の設定	NTP ● 有効 ◎ 無効
日時の設定	NTPサーバー ntp.nict.jp
BIOS兼OS 更新 ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定	保存

プレッション画面からタイムゾーンを変更するには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「日時の設定」セクションで、「タイムゾーン」リストからタイムゾーンを選択します。
- 3. このセクションでは、「時間表示形式」と「NTP サーバー」を構成することもできます。
- 4. 「保存」をクリックします。



外観の構成

プリセッション画面の外観をカスタマイズできます。 以下のように、ロゴやオリジナルの壁紙をアップロードすることが 出来ます。

パスワード	
接続構成	ロコのアップロートのよびアスクトップの設定
電源管理	ロゴ&壁紙
ネットワーク設定	
セキュリティ設定	セッション前に表示されるロゴは、350 ピクセル x 200 ピクセル以下のPNGファイルである必要があります。これ以外の画像の場合、正しく表示されないか、全く表示されません。
証明書の設定	壁紙 閲覧
日時の設定	
BIOS兼OS 更新	ビンプリア的にないできたらロコル、ツイスル・10mBメークドバリノアイルとめら必要があります。これなかかの国際の場合、正してな小されなもの、主人な小されなどた。
ロゴのアップロードおよびデスク トップの設定	
端末	
デバイス管理設定	デスクトップ
リセット	システム情報の表示 🖲 有効 💿 無効
イベントログ	
終了	保存

プリセッション画面で表示するロゴや壁紙をアップロードするには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 「ロゴのアップロードおよびデスクトップの設定」セクションで、「閲覧」をクリックして、アップロードするロゴや 壁紙ファイルを選択します。

注: プリセッション画面のロゴは、350 ピクセル×200 ピクセルを超えない PNG ファイルである必要があります。 壁紙 は、サイズが 10MB を超えない PNG ファイルである必要があります。 その他の画像は正しく表示されないか、まったく表示されません。

3. 「アップロード」をクリックします。

注:「詳細設定」でデスクトップを構成することにより、プリセッション画面の「システム情報」アイコンと「システム情報」ページを一般ユーザーから非表示にできます。 [ロゴのアップロードとデスクトップの構成]セクションで、[デスクトップの無効なシステム情報]を選択し、[保存]をクリックします。



端末(ターミナル)を使う

これは、X WindowSystem の標準端末エミュレーターです。 これにより、クライアントインターフェイスの特定の Linux コマンドを実行できます。



端末 (ターミナル)を開くには:

- 1. プリセッション画面で「設定」をクリックし、画面左下の「詳細設定」をクリックします。
- 2. 「端末」をクリックして、「Client-Terminal」ウインドウを開きます。

Copyright©2020by ELSA Japan Inc. 無断複写・転載を禁じます。

Microsoft、Windows、および RemoteFX は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。 Citrix は、Citrix Systems, Inc.の商標です。VMware は、米国およびその他の管轄区域における VMware, Inc.の登録商標または商標です。 Teradici および PCoIP は、Teradici Corporation の商標であり、米国およびその他の国で登録されている可能性がありま す。本書に記載されている実際の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

